保護者各位

令和２年度　立山町立釜ヶ渕小学校　学校経営方針

子供たちの健やかな成長を目指し、以下の取組を重視します。

【学校の教育目標（６年間の教育課程を終えた子供像）】

―　進んで課題に関わり、共に高め合う子供の育成　―

課題を見付けたり、自分や仲間と課題解決に挑戦したりすることを通して、「自分のよさ」や「仲間と取り組むことの楽しさ」に気付き、自分らしく逞しく生き抜いていこうとする気持ちをもった子供を育てます。

【今年度の重点】

○重点目標（学校の教育目標の実現に向けて、今年度、特に大切にしたい子供像）

―　学ぶ楽しさ、仲間と取り組むよさの分かる子供の育成　―

「新しいことが分かったり、できるようになったりしながら自分のよさに気付いていくって楽しい」「一人でするのもいいけれど、仲間と何かするのも面白い」といった子供の感覚を育みます。

○目指す学校像（学校の教育目標の実現のために大切にしたい学校像）

楽しくなければ学校じゃない　　学校の活動は楽しくて面白い

楽しいだけでは学校じゃない　　力をつけるには、粘り強く努力することも大切だ

でもやっぱり学校は楽しい！　　やればできる、自分が伸びるってとっても楽しい

【評価・改善】

―　個別懇談会、学級懇談会、学校評価アンケート、外部評価委員会　等　―

保護者、地域の方々が学校の教育活動を評価する機会を定期的に設けます。それらの機会に得られた意見をもとに、本校の教育活動をより充実したものにするよう、改善を図ります。

【取組の重点（学校の教育目標の実現に向け、教職員が重視する行動指針）】

（１）心身の安全・安心の確保

○子供がのびのび学校で過ごせるよう、学校・学級に子供の心の居場所を創ります。

○様々な危機に柔軟に対応できる危機対応能力の向上に努めます。

（２）楽しさのある教育

○子供の興味や関心、活動意欲を引き出す教育活動の提案に努めます。

○子供が活動にやりがいを感じるよう、取組過程における子供の努力を重視し、認め励まします。

（３）学びのある教育

○育てたい子供の力（ねらい）を明確にして、教育活動を行います。

○子供のやりがいを引き出すよう、取組の成果・結果だけでなく、取組の過程で表れる子供のよさを捉えて評価します。

○子供が自分のよさを発揮できるよう、子供が自分で考え、行動し、結果を受けて改善していく経験の蓄積を重視した教育活動の提供に努めます。

（４）効率を意識した教育

○子供が「学んだことは次の学びに役立つ」と感じられるよう年間を見通した各教育活動のつながりを明確にします。

○子供が「学校の学びは学校の外にも繋がる」と感じられるよう、保護者・地域・各種関係機関（ＰＴＡ、教育委員会、公民館、各種教育団体）の教育資源（人材、自然、行事、伝統文化、イベント等）を有効に活用した教育活動に努めます。

授業　学校行事　朝の運動　あいさつ運動　渕水タイム（学習、聴き合い、ボランティア）
わくわくタイム（集会、色団活動、なかよし班活動等）　栽培活動　読み聞かせ　プラス１　等

子供たちの「あこがれの大人のモデル」となれるよう、教職員一同、目標達成に向けて心を一つにし、一人一人の個性を生かして全力で教育活動に当たります。

子供たちのよさを引き出し、保護者や地域の方々の学校に対する温かい愛情と協力・信頼に応えられるよう、指導力の向上に努めます。よろしくお願いいたします。

【今の渕水っ子】

子供たちは、素直で純朴、優しく、穏やかで明るいです。やらなければならないことをきちんと行う誠実さがあります。目標をもてば、その実現に向け努力する力もあります。機会を与えればアイディアを発揮した活動を創る力もあります。学年の枠を超えて仲が良く、仲間と気持ちよく活動しています。保護者、地域からの愛情をたっぷりと受け、のびのびとしています。

半面、自分で決めたり、自分で行動したりする経験が不足なのか、いざ「自分で」という時に二の足を踏みがちです。学校の外の世界で積極的に挑戦してみようとする子供も少なめで、やや内弁慶の傾向を感じます。子供たちの強みである「誠実に取り組む力」を「自分から何かを起こし挑戦していく力」につなげられれば、渕水っ子のよさは、さらに輝くと感じています。

立山町立釜ヶ渕小学校　校長　尾﨑　斉